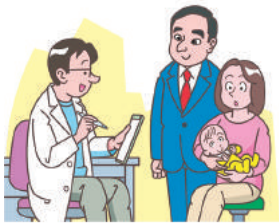


# 小さな声を聴く力、声をカタチに！

医療 福祉・環境施策・横浜市会議員 **かのう重雄**

## ■赤ちゃんの「聞こえの検査」に助成

生まれつき耳が聞こえにくい赤ちゃんは、千人に1人〜2人と言われています。



また、聴覚障がいは、早期に発見されて適切な支援が行われた場合には、音声言語の発達などへの影響が最小限に抑えられ

ることが分かっています。そこで、横浜市では、7月1日より聴覚障害の早期発見・支援等を図る



**かのう 重雄**  
 公明党横浜市会政調会 瀬谷事務所  
 瀬谷区三ツ境125-25 ☎365-2054 ㊚365-1690  
 かのう重雄

新生児の聴覚検査費用の一部助成を始めました。

補助対象検査や検査費用補助額等は、市ことも

青少年局こども家庭課の親子保健係(☎045・671・2455)まで。

## ■市営地下鉄・バスにヘルプマークを

内部障害や難病、妊婦初期の方々など、援助や配慮を必要とされている

事が外見からでは分からない人がいます。



ヘルプマークを推進



「ゆずりあいシート」ステッカー

案内ステッカーにヘルプマークを入れ込むように要望しました。

交通局からは、多言語表記と共に2020年を目指し検討していくとの回答が有りました。

今後、他の鉄道やバスの関係機関などにも働きかけて参ります。

## ■市営住宅内の全水銀灯をLED化へ

横浜市は、市営住宅の全の水銀灯(外灯)を2022年度にLED化する計画を立て、今年度から工事を始めました。

これは、私が提案した市営住宅内にある外灯のLED化と、水銀の使用等を規制する水俣条約の発効に伴って、全庁的に水銀灯のLED化を推進するよう提案してきた事で実現したものです。